

# Governor's Monthly Letter

# G M

ガバナー月信  
会長・幹事殿

Rotary  
District 2710

2025-26 ROTARY  
INTERNATIONAL  
District 2710

Vol. **13**  
2026.7

## ありがとうございました

会長・幹事の皆さま、そして会員の皆さま、こんにちは。  
私の最後の月信です。  
長いようで短い、それでいてとても充実したガバナーとしての1年を終えることが出来ました。  
これも私を支えてくださった、ガバナー補佐をはじめ地区の方々、  
ホームクラブや近隣のクラブの方々、  
温かく迎えて下さった2710地区内クラブの皆様、  
その他すべて関係するの方々のおかげだと思います。  
そしてこれからは、普通のロータリー会員に戻ります。  
昔、キャンディーズというグループが  
「普通の女の子に戻りたい」と言ってマイクを置きました。  
でも、それとは違うような気がしています。  
これからなんだと思います。  
ひとりの“ロータリアン”をめざして…

*Enjoy Rotary!*

皆さん、私は1年間ロータリーを楽しむことが出来ました。  
本当にありがとうございました。



## Contents

ガバナーを終えて	02	三原RC 創立65周年記念式典報告	13
ガバナー補佐 退任のあいさつ	04	第32回 国際ロータリー第2710地区 ガバナー杯ロータリークラブ 親善野球大会ご報告	14
地区代表幹事 退任のあいさつ	10	IM報告[G8]	15
クラブ管理運営委員長 退任のあいさつ	10	クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー (CLLS)を終えて	16
公共イメージ委員長 退任のあいさつ	10	RI第3690地区(韓国;高陽市)地区大会に参加して…	18
会員増強委員長 退任のあいさつ	11	ロータリー国際大会2026(台北) ガバナーナイト	19
奉仕プロジェクト委員長 退任のあいさつ	11	編集後記	19
青少年奉仕委員長 退任のあいさつ	11	新会員紹介/会員の増減・出席率	20
1年を振り返って ロータリー財団委員長	12		
1年を振り返って 米山記念奨学会委員長	12		





## ガバナーを終えて

国際ロータリー第2710地区 2025-26年度 ガバナー  
土肥 慎二郎

みなさん、ありがとうございました。

はじめに、私を支えて下さったガバナー補佐の皆様方に感謝を申し上げたいと思います。皆様と初めてお会いした第一回目のガバナー補佐会議において、私は「自分の3徴」として①嘘が言えない、②アドリブが苦手、③泣き虫、と紹介いたしました。以来、そんな私を支えて下さり、いろいろなところで助けていただきました。心より感謝を申し上げます。

次に地区役員・委員会の皆様方に感謝を申し上げます。就任前の3大研修に始まり、各地区役員・委員会の皆様方には各クラブのために並々ならぬご奉仕をして下さいました。おかげさまで地区大会や国際大会、その他さまざまな地区関連行事を無事に終えることが出来ました。

それから歴代のガバナーをお務めになったパストガバナーの皆様方に感謝を申し上げます。若輩者の私に対して、優しく、丁寧に、ご指導下さいました。特に、杉川ラーニングファシリテーターにおかれましては、危なっかしい私をいろいろな面で助けていただきました。

振り返ってみますと、私の年度は波乱から始まりました。国際ロータリー(RI)会長エレクトの突然の辞任です。会長メッセージこそ変わりませんでしたが、年度前にクラブの皆様にお伝えしたことの急な変更を余儀なくされました。

にもかかわらず、各クラブの皆様のご対応は善意に満ちた温かいものでした。クラブ公式訪問では、すべてのクラブの皆様方に歓迎していただきました。時に頓珍漢な話もしましたが、それすらも受け入れて下さり、私にとって毎日が学びでした。

10月の地区大会では、RIの中核におられる三木 明 様に会長代理としてお越しいただきました。各クラブの皆様方に「楽しくて良かったよ」と言っていただけたことが何よりの喜びでした。

下関のマラソン大会はとても疲れしました。と同時に付き合いしていただいた多くのロータリアンの皆様、開催にご協力いただいた下関ロータリークラブの皆様、地区内ローターアクトクラブの皆様との時間は、疲れを吹っ飛ばすほどの楽しいものでした。

グループごとに行われたインターシティー・ミーティング(IM)では、ガバナー補佐の皆様がいろいろと趣向を凝らして下さい、意義深く、楽しい学びとなりました。

ガバナー杯野球大会では、毎年ホストをお務めの広島北ロータリークラブの皆様には大変お世話になりました。前夜祭では、元カープの前田智徳さんにお越しいただき、サインまでいただきました。始球式では、なんとかノーバウンドで届かせることが出来ました。決勝戦と同日に行われた親善試合では、マツダスタジアムでプレーさせていただきました。光ロータリークラブの皆様、5連覇おめでとうございました。

その他、江田島にて開催されたRYLA(ロータリー青少年指導者養成プログラム)、韓国3690地区の地区大会、マツダスタジアムでのRAC主催の募金活動、台北での国際大会、などなど楽しいことばかりでしたが、残念なことが一つだけありました。

鞆の浦ロータリークラブの終結です。これまでの56年間のご奉仕に心より敬意を表するとともに、会員の皆様のご健勝を祈念しております。ありがとうございました。



Rotary 鞆の浦ロータリークラブ 土肥ガバナー公式訪問 2025年10月28日

それから、地区ガバナー事務局のみなさんには大変お世話になりました。ある日、事務局宛てにメールを送ったとき、のちに返信がありました。その返信時間が21:37だったので、後日「そんな時間まで事務局にいるのですか?」と聞いたら「時期によってはいつものことですよ」と。涙もろい私は、また泣きそうになりました。岡崎さん、布施さん、藤川さん、産休中の三原さん、サンキューでした。

感謝しかないガバナーとしての年度でしたが、最もお世話になったのが我が東広島21RCの皆さんと親クラブの西条RC、兄クラブの東広島RCの皆さんです。それぞれのお仕事、クラブでの行事のある中、私を支えて下さり、心よりお礼を申し上げます。地区大会はもちろん、一緒に野球チームを立ち上げたことも、楽しい思い出となりました。これからも、良き仲間として、どうかよろしく願いいたします。

最後になりましたが、毎月この月信の発行にご尽力いただきました、編集委員会の新開委員長、村上委員、今谷コミュニケーションズの渡邊様、本当にありがとうございました。

## — ガバナー補佐退任のあいさつ —

G1

国際ロータリー第2710地区  
2025-26年度 グループ1 ガバナー補佐

梶山 公則 (長門RC)



土肥ガバナー、2710地区役員の皆様、グループ内各ロータリークラブ(RC)会長幹事、各クラブ会員の皆様にご協力を頂き心より御礼申し上げます。

長門RCからガバナー補佐をとの依頼を受け難航の末、大役を引き受ました。講習会やマイロータリーでガバナー補佐の役割を学び、昨年5月のガバナーを囲む会から活動がスタート。7月～10月にガバナー補佐訪問を実施し、グループ1の各RCの状況把握と問題点を伺いました。私自身がCOVID-19に感染し、下関北RC会長のご協力を頂き、ガバナー訪問の準備を無事終え、土肥ガバナーの指導のもと充実したフォーラムになりました。特に、下関北RCと長門RCでは夜間例会で実施、その後、2次会3次会で土肥ガバナーと若手会員の意見交換にて、若手会員も感謝しておりました。

9月3日に下関西RCの55周年記念式典が盛大に行われました。11月2日に下関海響マラソンで土肥ガバナーがマラソンを完走され、下関の各RCともにポリオプラスをアピールし、夜に下関5クラブと共に土肥ご夫妻と完走をお祝いしました。

3月8日に長門市湯本観光ホテル西京にてIMが開催され、土肥ガバナー祝辞に続き、「ロータリアンに期待すること!」を高崎ロータリークラブ田中久夫パストガバナーの講演をいただきました。クラブ会長時代に51名の会員増強に成功された会員増強テクニックや面白い例会など楽しい講話でした。続いてパネルディスカッションで、各クラブ自慢の奉仕活動を提示し、活発な議論の中、充実した時間になりました。

5月31日にグループ1で下関の海岸清掃と、長門市の仙崎港の清掃を行いました。今回同日同時刻にグループ1が一つにまとまって奉仕活動を行う記念すべきロータリーデーとなりました。最後に、土肥ガバナー及び、グループ1の各RCの益々の繁栄と、各会員の皆様のご健勝とご活躍を祈願し、私の退任の挨拶といたします。

G2

国際ロータリー第2710地区  
2025-26年度 グループ2 ガバナー補佐

姫路 紀 (小野HRC)



戦々恐々として薄氷を踏む境地で、昨年7月にガバナー補佐に就任して一年が経とうとしております。

まずは、グループ2内の各クラブにご挨拶を兼ねて例会に参加させていただきました。近隣のクラブでもほとんど例会に出席したことがない私にとって、見ることも聞くことすべてが新鮮な印象でした。

その後、公式訪問をするなかで各クラブの特色や課題が見えてきました。特色としては、地域性やクラブ会員の職業分類や年齢構成が反映された例会運営や奉仕活動、親睦活動がありました。共通する課題としては、会員増強と会費による運営の厳しさがありませんでした。しかし、それらの課題も会員それぞれが自らの課題として取り組んでいる状況を知ることができました。

そこで、IMのテーマを「あなたのクラブをデザインしてみよう」というテーマを掲げ、「会員増強」と「親睦」に的を絞って参加者全員で話し合っていました。他のクラブの様子を伺うなかで、自分のクラブの将来像を描いてもらいたいという願いでした。

一年を振り返ってみると、多くのロータリアンとの出会いと様々な経験をすることができました。そのなかでも横浜で開催されたロータリー研究会や韓国の国際ロータリー第3690地区大会に参加したことは思い出深い体験でした。ロータリー活動の素晴らしさやロータリーを基軸とした親睦の大切さは、今後の私にとって貴重な財産となりました。

この一年、土肥慎二郎ガバナーをはじめ地区関係者、各クラブの多くの方々にご指導いただき、温かく見守っていただきましたことは感謝に堪えません。

これからも、ロータリアンとして職業を通じて社会奉仕をしていく所存でございます。

## — ガバナー補佐退任のあいさつ —

**G3**

国際ロータリー第2710地区  
2025-26年度 グループ3 ガバナー補佐

**馬越 帝介** (山口南RC)



未来へのバトンを繋ぐ — グループ3の絆と共に

国際ロータリー第2710地区、アシスタントガバナー(AG)の任期満了にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

在任中、地区役員ならびにグループ3の各クラブ会員の皆様には多大なるご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

AGとして、最も心に残っているのは、グループ3のホストとして開催したインターシティ・ミーティング(IM)です。「未来の子どもたちのために今出来ること！」をテーマに掲げたこの集いでは、急速に変化する現代社会において、次世代を担う子どもたちの成長を支えることは、地域社会のリーダーである我々ロータリアンに課せられた、最も重要かつ緊急性の高い責務であるということが確認できたのではないかと考えています。

また、各クラブを訪問する中で拝見した、伝統を守りつつも時代の要請に応えようとする皆様の真摯な姿は、私自身の活動の原動力でもありました。

AGとしての職務を通じて得た最大の学びは、ロータリーの価値とは、こうした個々のクラブの活力と、未来を思う共通の志の中にこそあるということです。

今後は一会員として、この貴重な経験を自クラブや地域の活動に還元していく所存です。AGとして培った絆と経験を糧に、これからも持続可能な地域づくりや子どもたちの笑顔のために、ロータリアンとしての情熱はそのままに、これからも皆様と共に歩んで参りたいと存じます。

最後になりましたが、土肥ガバナーをはじめとする地区役員の皆様、そして温かく支えてくださったグループ3の全ての会員皆様に深く感謝いたします。皆様のますますのご健勝と、第2710地区のさらなる飛躍を祈念いたしまして、退任の挨拶とさせていただきます。誠にありがとうございました。

**G4**

国際ロータリー第2710地区  
2025-26年度 グループ4 ガバナー補佐

**山田 正敏** (徳山東RC)



このたび、大役をお預かりした年度の締めくくりにあたり、グループ内5クラブの皆様より格別のご支援とご厚情を賜りましたことに、心より厚く御礼申し上げます。

本年度は、期の直前に国際ロータリー会長が交代されるという異例の幕開けとなりましたが、大きな混乱もなく運営が進められたことに、伝統あるロータリークラブの組織力の確かさを、あらためて実感いたしました。

ご指導を賜りました土肥慎二郎ガバナーは、2710地区歴代最年少のガバナーでありながら、ロータリー活動に関する幅広い見識と豊かなご経験をお持ちでした。年度前半にガバナー公式訪問の日程を集中的にお組みいただいたため、ご多忙な日々であったにもかかわらず、各クラブから寄せられるさまざまな問いに対し、常に分かりやすく的確にご教示くださいましたことに、深く感謝申し上げます。

担当した各クラブは、私にとって若いころからご縁をいただいていた旧知のクラブですが、このたびガバナー補佐として幾度も訪問を重ねる中で、それぞれのクラブが持つ個性豊かな魅力を、あらためて深く感じる機会となりました。

とりわけ、創立30周年を迎えられた徳山セントラルRCが、記念事業としてウクライナ駐日大使をお招きした講演会を企画されていると伺った際には、その実現の難しさから内心その行方を案じておりました。しかし、それを見事に成し遂げられたことに、心より深い敬意を表します。

結びに、グループ内5クラブの今後ますますのご隆昌とご発展を心より祈念申し上げ、退任のごあいさつといたします。

## — ガバナー補佐退任のあいさつ —

G5

国際ロータリー第2710地区  
2025-26年度 グループ5 ガバナー補佐

勝井 優 (岩国中央RC)



本年度の行事も、5月19日の柳井クラブ訪問をもちまして無事終了いたしました。振り返りますと、約1年前に広島でAG研修を受けたことから、私の一年が始まりました。土肥ガバナーを岩国にお迎えし、グループ5の岩国・岩国西・柳井・柳井西・岩国中央の各クラブ会長・幹事の皆様にご参集いただき、和やかな雰囲気の中で新年度がスタートしたことを、今も鮮明に覚えております。

その時点で、IMのテーマを「教育を通しての地方創生」と決めておりましたので、一貫してこのテーマを実現するために、クラブ訪問の日程調整を進めるとともに、卓話者の選定にも力を注ぎました。

昨年4月、徳山高専の校長先生が交代されたとお聞きし、ご挨拶に伺った際、阿部校長先生より「私はロータリーの派遣留学生でした。ロータリーには恩返しをしたい」とのお言葉を頂戴しました。IMのキーワードとして「岩国留学」を掲げていた私にとって、まさに願ってもないお申し出であり、その場でIMの概要をご説明し、ご協力をお願いすることができました。

また、私の娘も大学時代からカナダをはじめ各国に留学し、ロータリー以外の財団から奨学金をいただきながら、大学・大学院をイギリス・フィンランドなどで学ぶ機会に恵まれました。こうした経験もIMに活かせると考え、早い段階で日程調整を行い、登壇の了承を得ることができました。IMの詳細につきましては、別紙「IM開催報告」をぜひご覧ください。

さらに、IMの余興として地域の「神楽」を披露いただき、5歳児から中学生までの若い皆さんによる演舞は、会場を大いに盛り上げ、素晴らしい時間となりました。

この一年を無事に終えることができましたのは、土肥ガバナーをはじめ、グループ5の全会員の皆様、そして関係者の皆様のご理解とご協力のおかげであり、心より感謝申し上げます。最後に、補佐幹事として献身的に支えていただいた安部会員に、深く御礼申し上げます。

一年間、本当にありがとうございました。

G6

国際ロータリー第2710地区  
2025-26年度 グループ6 ガバナー補佐

佐伯 正道 (広島RC)



2024年10月第一回ガバナー補佐予定者会議が行われた直後、癌が発覚致しました。ステージ2、早急な治療を求められ12月10日入院。102日の入院手術を行いました。抗癌剤治療の合間に予定者会議等に出席。新年度からの土肥ガバナー体制の中で、本当に補佐としての職責を全うできるか自問自答しました。4月手術が完了し、無事7月新年度に間に合いました。土肥ガバナーほか皆様の協力で、何とか無事年度末を迎えることが出来ました。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

しかし、ガバナー補佐を経験させて頂き、本当に良かったと痛感致しました。クラブの大小にかかわらず、会長幹事を中心に必死でロータリー活動を行っておられる姿を拝見し、本当に頭が下がる思いを致しました。楽しい昼食を求めて会長幹事のタッグが組まれるクラブ。例会にホッとした楽しみを入れて出席率を上げる努力。合同ゴルフをクラブ活性化のツールとして活用。会員増強の目標を設け着実に実績を上げていくクラブ。同好会活動をクラブ活性化のツールに利用等々、本当に頭の下がる思いです。

もう一点はグループ7の田上剛ガバナー補佐とインターシティーミーティングを主管された広島城南ロータリークラブ二上真也会長とIMの大畑哲也実行委員長にお礼を申し上げます。グループ6とグループ7は隔年で実行組織を交代で行っており、本年度はグループ7の担当で開催されました。

基調講演講師には東京科学大学の中島岳志教授に「利他と中間団体」をテーマをお願いいたしました。田上ガバナー補佐の熱き思いで一年前から講師要請し準備万端整っていましたが、数日前に白内障の手術で片目が見えなくなりました。再手術まで東京を離れられない。さて困り果てましたが、今の時代zoomを利用して東京より遠隔講演を行って頂きました。時間・距離を超越し全く違和感のない基調講演が開催できたと思います。

最後にこの一年本当にお世話になりました。ありがとうございました。

## — ガバナー補佐退任のあいさつ —

G7

国際ロータリー第2710地区  
2025-26年度 グループ7 ガバナー補佐

田上 剛 (広島城南RC)



国際ロータリー 2710地区グループ7のガバナー補佐を務めてさせていただいた広島城南ロータリークラブの田上です。土肥慎二郎ガバナーのご指導ご支援の下、グループ7の各クラブの公式訪問の際には、各クラブの会長、幹事を始めとする役員の方々、会員の皆様に多大なお力添えをいただき、無事終えることができました。別の機会のクラブ訪問の際にも、例会の貴重な時間を割いて温かく迎えていただきました。

また、昨年10月18日、19日に開催された地区大会では、悪天候にもかかわらず多数の皆様のご参加をいただきました。さらに、本年2月15日のグループ6・7合同インターシティーミーティングでは、急遽ズームでの基調講演となり、懇親会では複数会場をビデオ映像で繋ぐ形となりましたが、多くのロータリアンの皆様の積極的かつ熱心な参加で盛り上げていただきました。

ガバナー補佐の大役を私が務めることができるのか、不安がありましたが、土肥ガバナー、奥谷求代表幹事、グループ6の佐伯正道ガバナー補佐を始めとする2710地区のガバナー補佐の皆様、グループ7の各クラブの会長、幹事を始めとするロータリアンの皆様のご支援ご協力で、何とか一年間の務めを果たすことができました。本当にありがとうございました。

今後は、ガバナー補佐としての貴重な経験を活かしながら日々のロータリー活動に関わっていきたくと考えています。今後ともご指導ご鞭撻をどうかよろしくお願いたします。

G8

国際ロータリー第2710地区  
2025-26年度 グループ8 ガバナー補佐

湯澤 俊樹 (呉東RC)



土肥ガバナーから、ガバナー信条『Enjoy Rotary～思いやりと奉仕の心で～』を初めて聞かされた時、三十有余年のロータリー活動の中で抱いていた思いに少し自信が持てました。

このガバナー信条が浸透すれば、各クラブの活動も一層活性化し、かつ持続性も増し、地域におけるロータリーの評価も高まっていく。こうした好循環が生まれるだろうと考えました。

そこで、ガバナー信条の意図や意義を、クラブ協議会やガバナー公式訪問、或いはIMを通じ、グループ内の皆様と共有していくことを目標にしました。

ガバナー補佐として、各クラブを複数回訪問させていただき、いろいろと刺激を受け、また学ぶことができました。グループ8のロータリアンの皆様には、日頃熱心にロータリー活動を展開していただき、ロータリーに関わる者の一人として尊敬の念に堪えません。

一方で、クラブ間のつながりをもっと深めていけば、お互いにもっと触発し合えるのではないかと考えています。グループ内の団結力を高め、ネットワークを強化することで、各クラブの特性を発展させつつ、各クラブのロータリー活動も更に充実していくでしょうし、グループ8全体として、ロータリー運動の推進にもっと貢献できるのではないかと考えています。

一昨年10月、突然ガバナー補佐の役割を担うこととなり、この際ロータリーを学び直そうと意気込みました。それを果たせぬまま任期満了を迎えることになり、やはり「Rotarianへの道のりは、まだまだ遠い。」というのが実感です。

各クラブの会員の皆様には、何かとお世話になり、またお引き立ていただき、本当にありがとうございました。

## — ガバナー補佐退任のあいさつ —

G9

国際ロータリー第2710地区  
2025-26年度 グループ9 ガバナー補佐

森崎 正治 (広島空港RC)



やむを得ぬ事情により再びガバナー補佐を引き受けさせていただきましたが、早いもので役目を終える時期がやってきました。役割は大体承知しているものの、うまく務めを果たせるだろうかという不安と、何とかなるさという開き直りの中での出発でありました。

「Enjoy Rotary」～思いやりと奉仕の心で～というガバナー信条と、「ロータリーの基本はクラブです。ロータリーを楽しんで下さい。マイロータリーを活用してください。」というガバナーの思いを聞かせて頂き、この方針に沿って1年を過ごして参りました。

ガバナー補佐として力不足であったとは思いますが、土肥ガバナーの寛容の心に救われたことも多々あったので、ガバナーには大変感謝致しております。

また、各クラブの会長・幹事さんには、訪問の度にお気遣いして頂き誠に有難うございました。各クラブを4回訪問しましたが、どのクラブにも温かく迎えて頂いたことは大変有難かったです。各クラブが会員増強には苦戦しておられましたが、クラブ運営にはそれぞれ独自の特色があり、実状に応じて素晴らしい運営をされているのを見聞し、私にとって随分と勉強になりました。

IMは、「歴史に学ぼう～ Enjoy Rotary」というテーマで開催し、戦国時代史の研究で有名な小和田哲男先生に、「小早川隆景が戦国の世をどのように立ち回ったか」と題してわかり易く為になる講演をして頂きました。懇親会も大変盛り上がり、「Enjoy Rotary」がしっかりとできたIMとなりましたので、皆様に充分楽しんで頂けたのではと思います。

最後になりますが、グループ9の皆様には1年間ガバナー補佐として大変お世話になり、心より感謝申し上げます。

G10

国際ロータリー第2710地区  
2025-26年度 グループ10 ガバナー補佐

濱田 雅文 (福山丸之内RC)



「ロータリー運動の主体はクラブ」と言われている土肥ガバナーの下でEnjoy RotaryをG10の皆様と共有していただくよう補佐を一年間努めて参りました。G10のクラブの皆様とガバナーの橋渡しをさせていただくには私自身のロータリーへの勉強不足や力不足(情熱不足?)を痛感した一年になりました。しかしロータリーを感じ自己啓発の一年になったと思います。G10の各クラブの会長幹事会員の皆さんにはご迷惑やご心配をおかけしたこととお詫び申し上げますとともにご協力ご支援を深く感謝申し上げます。またG10・G11合同IM開催につきましてはテーマを「ロータリーの未来予想図」とし基調講演「AIで描く地域社会の未来図」はソフトバンク株式会社 佃専務執行役員兼CTOをお願いをし、その後のパネルディスカッションでは佃氏をはじめ枝広福山市長、グーグルクラウドジャパンの上野氏を交えヒロマツホールディング株式会社の松田氏にコーディネーターをお願いし大変好評をいただきました。これもG11 橋本ガバナー補佐をはじめ赤坂クラブの方々に大変な尽力をいただき御礼申し上げます。懇親会では当クラブの社交ダンス同好会のメンバーに途中土肥ガバナーにもご登壇いただき楽しい雰囲気の中、“手に手を取って”で終わることが出来たこと、ご参加のロータリアンの皆様に感謝申し上げます。ただ任期中に県内有数の名勝地である鞆の浦を冠する歴史ある福山鞆の浦RCの解散が決定され何の力にもなれず痛恨の極みになりました。

必ず近いうちに復活されますよう祈念しております。IMで最近では生成AIで挨拶文を作る人が増えているとお話がありましたがこの挨拶文は稚拙であり私自身の文だということをお伝えし、重ねて多くの方々に御礼申し上げます。

## — ガバナー補佐退任のあいさつ —

### G11

国際ロータリー第2710地区  
2025-26年度 グループ11 ガバナー補佐

橋本 慎吾 (福山赤坂RC)



2025-26年度、G11のガバナー補佐を務めさせていただいた、福山赤坂ロータリークラブの橋本慎吾です。本年度の取組みとして、各クラブの活動がより主体的で楽しく活力のあるものとなるように努めて参りました。初の取組みとして「G11・5クラブ合同例会」が開催され、クラブの垣根を越えて、会員同士の連携とロータリー活動への意欲が高まり、未来に向けて善きスタートが切れたと喜んでおります。

また、「G10・G11合同インターシティミーティング」には、ご来賓に枝広直幹福山市長、土肥慎二郎ガバナーをはじめG10・G11のロータリアン409名の全員登録、322名の本会議参加をいただき、盛大に開催されることができました。RI会長フランチェスコ・アレツォ会長メッセージ「よいことのために手を取りあおう」、そして、土肥慎二郎ガバナー信条「Enjoy Rotary」の下、本年度の集大成の場として、IMテーマを「ロータリーの未来予想図 ～テクノロジーで未来を切り拓く～」とさせていただきました。そのおもいは、クラブやグループの垣根を越えて、この地区のロータリアンが未来に向けて、手を取りあい「夢や希望」に満ち溢れた未来予想図を描いていただきたいと考え、現代社会の課題である、テクノロジーを活用して未来を切り拓くことの大切さを、念頭に開催させていただきました。その結果として、本会議終了後、会員のみならず、「経営やロータリー活動などで感じられている課題解決に役に立てる内容であった。」と、称賛の声をいただきました。

最後に、「信念」を「燃料」として走ってまいりましたが、燃料が途絶えることなく最後まで走り続けられましたことに、G11の各会長をはじめとする、会員のみならず深く感謝申し上げます。

### G12

国際ロータリー第2710地区  
2025-26年度 グループ12 ガバナー補佐

上田 秀樹 (三次中央RC)



ガバナー補佐を拝命して以来、土肥ガバナーとクラブの架け橋となるように心がけてまいりました。

5クラブの公式訪問では、各クラブの今年度の新しい奉仕活動ならびに継続している奉仕活動などを知ることができて、各クラブの色を感じることができました。大変勉強になり、持ち帰ってこれからのロータリー活動に役立てたいと思いました。

一番印象に残ったのは、やはり3月14日に行ったIMです。当日10時に所属クラブの全員が集合して実行委員長を中心に綿密なりハーサルを行い、13時に開会いたしました。基調講演は演歌歌手で、ひろしま文化大使の南一誠様をお迎えして「今日を生きる勇気、明日死ぬ覚悟」と題して講演をいただきました。明日死んでもいいほどに今を精一杯生きるという、大病を乗り越えられた講演者の話は心に響きました。

土肥ガバナーの総評では、いつものように熱くなられて、私も謝辞を申し上げる時に、目頭が熱くなりました。

ガバナー補佐に任命されたことで、大変多くのロータリアンと知り合いになることができました。これからもロータリーを楽しみたいと思います。任命していただき、ありがとうございました。

終わりにサポートしていただいた三次中央ロータリークラブのメンバーの皆様、そしてグループ12の皆様には心から感謝申し上げます。



## — 退任のあいさつ —



国際ロータリー第2710地区 2025-26年度 地区代表幹事

奥谷 求  
(東広島2IRC)

今から3年半前、土肥ガバナーより「私がガバナーになったら、代表幹事を引き受けてほしい。私は、もう決めています」と、お声をかけられ、その熱意から、お引き受けをいたしました。

以来、パストガバナー訪問、地区チームの編成、地区大会実行委員会の立ち上げ、一連のラーニングセミナーやガバナーエレクトを囲む会、公式訪問そして地区大会の開催など、まさに「光陰矢の如し」時間が過ぎていくのがとても早く感じました。これらの活動から、各クラブの状況や個性豊かなクラブ運営などを学ぶことができ、貴重な経験をさせていただきました。土肥ガバナーは、一貫して「Enjoy・Rotary」「ロータリーの運動の主体はクラブである」と訴えられ、時代や取り巻く環境に合わせた地区ロータリー運営を心がけ、各クラブの皆様と共感を得ることができたと思います。

最後に、パストガバナー、ガバナー補佐、地区役員、各クラブ、地区事務局の皆様にご心より感謝申し上げます、退任のあいさつとさせていただきます。



国際ロータリー第2710地区 2025-26年度 クラブ管理運営委員会 委員長

小島 章二  
(江田島RC)

2025-26地区委員会方針の中、クラブ管理運営委員会では例会の充実・ハラスメントの防止・DEIへの取り組み等が上げられました。委員長はどのような仕事をすればよいのかと戸惑いましたが委員長経験者の皆様からのご指導で最後まで務めることができました。主な行事では2025年3月16日会長エレクト研修セミナー&地区ラーニングセミナーから始まりました。ロータリー活動の主体はクラブです、例会の充実をどのように進化させるか貴重な勉強の機会となりました。次に2025年4月27日地区研修・協議会がされました。

分科会では地区クラブの皆様事前にアンケートをお願いした内容をもとに各クラブの取り組みを紹介しました。会員規模に係らず前向きな取り組みを実行されているクラブが沢山ありクラブの現状や取り組みについて地区クラブで共有できたことと思います。

また西村PG、石川カウンセラーのとてもわかりやすい講話を頂き、これからのクラブ運営に役立つことと確信しました。地区チーム関係各位に感謝申し上げます退任のご挨拶とさせていただきます。「Enjoy Rotary」



国際ロータリー第2710地区 2025-26年度 公共イメージ委員長

今谷 哲也  
(東広島2IRC)

2025-26年度、第2710地区の公共イメージ委員長を務めさせていただきました。この1年間、地区内全クラブの皆様に伴走していただき、無事に任期を全うできましたことを深く感謝申し上げます。

「行動人」である私たちの奉仕活動は、地域社会に見えてこそ、その価値が何倍にも膨らみます。今年度は、各クラブの皆様が独自の知恵を絞り、SNSや地域メディアを通じて「ロータリーの生きた姿」を非常に魅力的に発信してくださいました。皆様の積極的な姿勢に、私自身が最も刺激を受け、励まされた1年であったと感じております。

公共イメージの構築に「終わり」はありません。私たちが蒔いた種が、次年度、そしてその先へと引き継がれ、さらに大きな大輪の花を咲かせることを確信しております。

素晴らしい機会を与えてくださったガバナー、地区役員の皆様、そして何より現場で共に歩んでくださった全会員の皆様、重ねて御礼申し上げます。1年間、最高の時間をありがとうございました。

## — 退任のあいさつ —



国際ロータリー第2710地区 2025-26年度 会員増強委員会委員長

柳河 元木  
(東広島RC)

会員増強委員長としての一年を無事に終えるにあたり、皆様に心より御礼申し上げます。本年度、4つの基本方針「1. 会員の増強・2. 女性会員の増強をはかる・3. 会員の退会防止をはかる・4. 衛星クラブ制度などを活用して新しいクラブをつくる」としまして、5月の地区研修協議会では多くのクラブ課題である会員拡大についての取り組みを共有し会員拡大の推進に繋がったと感じています。特にオープン例会を開催されているクラブが多く、会員拡大のきっかけとなっています。次年度もオープン例会開催の補助金が有りますのでご活用いただき会員拡大に繋げていただきたいと思います。結びに、皆様の熱意とご協力のおかげで、1年間職務を全うすることが出来ました。この場を借りて深く感謝申し上げます。次年度も引き続き、各クラブの会員が拡大することを祈念し、退任の挨拶とさせていただきます。一年間、本当にありがとうございました。



国際ロータリー第2710地区 2025-26年度 奉仕プロジェクト委員会 委員長

本田 逸男  
(西条RC)

第2710地区の各クラブより提出された昨年度の事業報告と今年度の事業予定をもとに、奉仕プロジェクト委員会で職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕の各部門における発表クラブを選考し、3クラブにクラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナーの分科会で発表していただきました。発表以外にも優れた奉仕事業が多く、分科会内で紹介を行いました。上田パストガバナーからは「各クラブに適した奉仕プロジェクトは必ずある。地区補助金を積極的に活用し、奉仕活動をさらに推進してほしい」との総評をいただきました。

今年度テーマ「Enjoy! ROTARY」のもと、思いやりと奉仕の心を大切に活動できた一年でした。最後に、委員会の皆様と地区事務局の皆様のご支援に深く感謝申し上げます。



国際ロータリー第2710地区 2025-26年度 青少年奉仕委員会 委員長

大浦 里美  
(東広島21RC)

本年度、青少年奉仕活動に多大なるご支援を賜り、心より御礼申し上げます。まずは本委員会を導いてくださった井内カウンセラー(PDG)をはじめ、委員の皆様にも深く感謝いたします。また、青少年交換・インターアクト両委員長には緊密な連携とご指導を賜り、心より感謝いたします。地区大会「青少年とロータリーの時間」では、皆様のご尽力で若者の力強い発表の場を創出でき、大きな感銘を受けました。また、4月のRYLAでは江田島ロータリークラブの皆様にも、準備から設営まで献身的に支えていただきました。「平和への一歩」をテーマに、小牟田秀覚海上自衛隊第1術科学校校長様、井内PDGの基調講演や討論を通じ、参加者と共に平和の本質を深められたことは貴重な体験です。

土肥ガバナーが掲げられた「Enjoy Rotary」～思いやりと奉仕の心で～という言葉に胸に、ガバナーと共に活動できたことは、私にとってこの上ない誇りであり、喜びでございました。

今後の各クラブの皆様、益々のご健勝とご発展を祈念し、感謝の言葉とさせていただきます。

## — 1年を振り返って —

国際ロータリー第2710地区  
2025-28年度 ロータリー財団委員長

**白石 民彦** (防府RC)



今年度より山本様(呉南RC)の後任として委員長を仰せつかりました。

### 1. 財団委員長就任に際して自分なりに掲げた目標。

- ・各クラブの皆様にもっと身近に感じてもらいたい。
- ・寄付(集める活動)と補助金(活用する活動)のバランスを図る。

### 2. 主な課題と対応

#### ①地区財団活動資金(DDF)の5年超の繰越しが、認められなくなったことへの対応。

前委員長の引継ぎとして5年超未使用のDDF(約\$ 35万)については第2710地区冠名基金に指定。今後も当地区の要望に応えられるように対応した。

#### ②補助金活用を促進するための環境整備

当地区「地区補助金に関する指針」の見直しと新たに「環境」項目を追加。これにより次年度からはより多様な社会奉仕活動に補助金を活用いただける体制が整った。

#### ③財団活動を身近に感じてもらう為の研修内容の刷新

昨年の地区協より財団勉強会で従来の講義形式の研修から参加者同士が対話を通じて気付きを得るRLI方式を導入した。他クラブの財団担当との具体的な情報を交換できる場は大変好評であり、財団活動を自ら捉え直す好機となった。

### (まとめ)

委員長として判断に迷うケースもありましたが前委員長に引継期間として残留していただきサポートしていただいた1年だった。

また、懸案のDDFの活用促進の1つである地区補助金の申請件数は昨年比、プラス3件とわずかながら前進をみる事ができた。

次年度は今年度実施した「指針の見直し」と新たに追加した「環境」項目を活用し各クラブの補助金活用が更に進むことを祈念しております。1年間、ありがとうございました。

国際ロータリー第2710地区 2024-27年度  
米山記念奨学会委員会 委員長

**廣田 昭** (広島南RC)



2年間の勉強期間を経て、昨年度より委員長を務めることとなり、今年で2年目の委員長を終えようとしています。地区米山委員会では、委員会の活動内容や委員長の役割を鑑み、「委員長3年間」を基本としていますので、次年度(2027年6月末)まで委員長を務めさせていただく予定です。引き続き宜しくお願い申し上げます。

さて、ロータリアンの皆さま、米山奨学事業への変わらぬご協力、またご寄付を通じたご支援に感謝申し上げます。また、奨学生を受け入れていただいた世話クラブ、ならびにカウンセラーをお引き受けいただいた皆さまに重ねて感謝申し上げます。

国内に奨学金制度はいくつもありますが、私たち米山奨学制度最大の特徴は、何と言っても「世話クラブ・カウンセラー制度」です。一人ひとりの奨学生に世話クラブがあり、さらに専任の担当としてカウンセラーが就くこの仕組みが、奨学金支給期間が終了しても縁が切れない、まさに金の切れ目が縁の切れ目とならない、奨学生と世話クラブの、ひいては国と国との懸け橋となる人材を育てる取り組みなのだと思います。

ところで、今年度からの新たな取り組みとして、米山奨学金の支給期間を「1年未満(1年もしくは半年)」に限定いたしました。これまでは、1回の合格で2年間の支給が確定する合格者を若干名選考していましたが、近年、受験者の2年間希望への偏りが著しくなっており、2年間希望の合格者が増える事は、採用人数が決まっている以上、翌年の合格者数を減らす事に直結し、結果として門戸を狭める事になるからです。

これからも公平性・透明性・多様性を最大限担保しつつ、米山奨学事業の運営を進めてまいります。今後とも引き続き米山奨学事業へのご協力とご支援を宜しくお願い申し上げます。



## 三原RC 創立65周年記念式典報告

国際ロータリー第2710地区 2025-26年度 三原RC創立65周年記念式典 実行委員長  
**上田 嘉信**  
(三原RC)

三原ロータリークラブは昭和36年4月4日、尾道ロータリークラブをスポンサーに24名のチャーターメンバーで発会しました。以来、今年度で65年の節目となり、令和8年4月21日、創立65周年記念式典・記念祝賀会を行いました。

山田恒正会員の司会で始まり、小林巧治会長、点鐘、私、実行委員長の開会の辞、国歌斉唱、ロータリーソング(奉仕の理想)斉唱、小林巧治会長による来賓紹介、ロータリー関係では国際ロータリー第2710地区 土肥慎二郎ガバナー、国際ロータリー第2710地区グループ9 森崎正治ガバナー補佐、同、澤井一徳補佐幹事、広島空港ロータリークラブ 川本吉則会長、同、佐々木正親幹事、如水館高等学校インターアクトクラブ 安井由紀子顧問、そして、岡田吉弘三原市長、森光孝雅三原商工会議所会頭のご臨席をいただきました。

続いて、来賓祝辞では土肥慎二郎ガバナー、岡田吉弘三原市長、森光孝雅会頭より地域社会における三原ロータリークラブの長年の奉仕活動に対しての御礼、期待と激励の言葉をいただきました。

次に記念事業の発表を行い、小林巧治会長より、三原市全小学校に児童の健全な育成を願い、サッカーボール50個、ドッジボール30個の目録を三原市に贈呈しました。

恒例の歴代会長表彰式は60代 保道茂樹会員、61代 藤原聖士会員、62代 夜船裕光会員、63代 赤石靖久会員、64代 内海勝議会員に感謝状と記念品を贈り、功績を称えました。

西岡宏副会長の閉会の辞、小林巧治会長の点鐘で記念式典を有意義に終了しました。

記念式典終了後、会場を移り記念祝賀会を開催しました。オープニングには、インターアクトクラブのある如水館中学高等学校のチアリーディング部の演技をビデオ放映し、その後、実技が行われました。10数名の生徒さんの演技、朗らかで明るく元気いっぱいの動き、見ている私達も元気と勇気もらい、祝宴の盛り上がりにつなげられました。祝宴は干鯛潤会員の司会で始まり、小林会長の開宴の辞、ご来賓の森崎正治ガバナー補佐に乾杯の御発声をいただきました。

宴席では、これまでの活動の思い出話や今後の奉仕活動について活発な意見交換がなされ、クラブ内の一体感をさらに強くする場となりました。宴会終了時には全員でロータリーソング「手に手つないで」を合唱し、大きな輪を作り満面の笑顔で和やかなひと時となりました。最後に次年度会長 赤利俊彦会員の閉宴の辞・お礼の言葉があり、一丁締めで閉宴となりました。

三原ロータリークラブでは10年単位、その間の5年単位で記念式典・祝賀会を行っており、5年単位はメイン行事にはしていませんが、節目を作り私たちの日々の活動を見直すことができ、良いことだと思っています。

今年度の創立65周年で65年間の全会員数を調べてみますと388人となり、現在の会員数は49名ですので過去の会員数は339名となります。この多くの先輩会員のたゆまぬ努力に培われ、現在の私たちがいます。本日のような節目に改めてロータリークラブの在り方を考え活動したいものです。





## 第32回 国際ロータリー第2710地区ガバナー杯ロータリークラブ親善野球大会ご報告 16チームが熱戦を展開、光RCが大会5連覇・通算10回目の優勝

国際ロータリー第2710地区 ガバナー杯野球大会実行委員会 実行委員長  
**杉町 孝**  
(広島北RC)

1995年に始まった本大会も第32回を迎え、初出場となる下関北RCも加え、地区内21クラブ16チームが参加し、鶴岡一人記念球場とマツダスタジアムで開催されました。スポーツを通じて友情と親睦を深めるこの大会は、年々その盛り上がりを増しています。

大会前日には前夜祭(開会式)には、来賓として広島県知事、広島市長、土肥ガバナーを始めとする歴代ガバナーの皆様と全クラブの参加により、盛大に開催されました。

今年は雨による順延もなく、4月25日には決勝戦をマツダスタジアムで行うことができ、光RCと広島東南RC・広島城南RC合同チームによる対戦が行われ、光ロータリークラブは、経験に裏打ちされた安定感と、要所での集中力が光り、王者らしい試合運びを披露。光RCが13-5で広島東南RC・広島城南RC合同チームを下し、見事大会5連覇、そして通算10回目の優勝という輝かしい記録を打ち立てました。

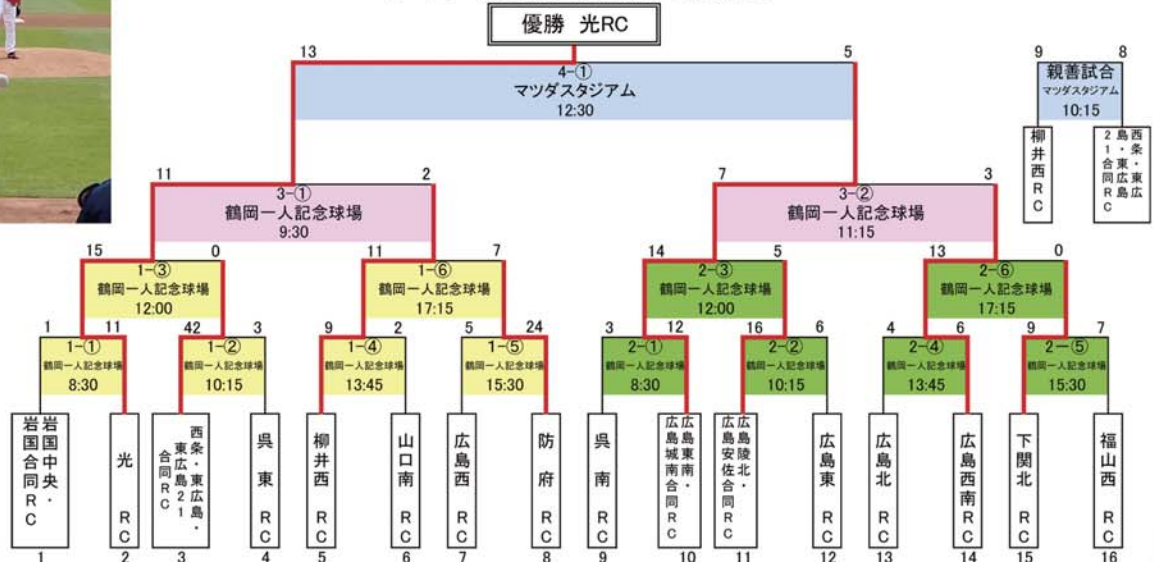


試合の合間には、クラブ同士が互いの健闘を称え合い、笑顔で交流する姿が多く見られました。スポーツを通じて生まれる繋がりや、クラブ活動の活性化にもつながり、親善大会の大きな魅力となっています。

大会運営に関し至らぬ点多々あったかと存じますが、皆様のご協力によって、今年の本大会も無事終えることが出来ました。土肥ガバナーを始め、大会に参加頂いた皆様に、心よりお礼を申し上げ大会の報告といたします。



第32回 国際ロータリー第2710地区ガバナー杯  
ロータリークラブ親善野球大会 最終結果





## IM報告 [G8]

# 『みんなで団結して良いことをしようぜ!』

国際ロータリー第2710地区 2025-26年度 グループ8 ガバナー補佐  
**湯澤 俊樹**  
(呉東RC)



参加者全員で「4つのテスト」を唱和



二胡奏者・医学博士 姜曉艶さんによる演奏

『みんなで団結して良いことをしようぜ!』をテーマに、令和8年4月25日、グループ8のIMを呉阪急ホテルで開催しました。

このテーマは、RI会長メッセージである『UNITE FOR GOOD』を受け止め、その意図するところを行動に結びつけようと表現したものです。まるで青春時代のような口語調にしたのは、サミュエル・ウルマンが70代に書いた“YOUTH”(青春)という詩の中の次の二つのフレーズを意識し、私たちロータリアンが理想を持ち続けるため『若さを把握』する必要があるとの思いからです。

誤訳を恐れず、和訳に挑戦してみました。

Youth is not a time of life; it is a state of mind.

青春・若さとは人生のある時期のことではない。それは意志が躍動する状態をいうのだ。

Nobody grows old merely by a number of years. We grow old by deserting our ideals.

年齢によって人は老いるものではない。理想を捨て去ったときに私たちは老いてしまう。

今日、世界から平和がどんどん遠のいています。他方、ロータリーの目的である「世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること」の意義が一層鮮明になっています。

13年前、『ロータリーの奉仕は平和の原点』をテーマにグループ8のIM(ホストクラブは今回と同じ呉東ロータリークラブ)を開催しました。田中作次RI会長(当時)が掲げたテーマ『奉仕を通じて平和を』に沿った企画でした。

サービス(奉仕)の真意である「他人を思いやる心」と「他人の役に立つ行動」を高め広めていけば、平和をもたらすことができると理解しています。このサービスの理念を広めていく必要性を切実に感じているところです。

そこで、今回のIMの基調も平和とし、今後の国際奉仕の展開を課題としました。世界的な規模に視野を拡げ、新た

な活動の余地を見出していくために、元内閣総理大臣衆議院議員 岸田文雄様に基調講演をお願いしました。

『国際秩序の歴史的転換点における日本外交』を演題に長時間お話いただきました。国際協力の枠組みが危機的状況にある中においても、理想を忘れてはならないと、現実を見据えながらも平和な未来の構築へ向けて一歩ずつ進めていこうとされる姿勢に改めて感銘を受けました。

内閣総理大臣として3年間、外務大臣として4年8か月という、まさに国政の要職を歴任されたご経験に基づくお話は、重厚でかつ説得力に富んだ内容でした。

第Ⅱ部『国際奉仕活動の事例発表』では、呉南RC、江田島RC及び東広島2IRCの3クラブから具体的な取組を報告してもらいました。「まだまだやるべきことがある」、「外国人市民のための防災教育や災害時の支援が必要だ」、「歴史や文化や考え方の違いを受け入れた上で共通の目標に向かい進んでいく」等々、それぞれの実践や考え方、何より3人の発表者の熱意が伝わり、IMならではの学びと交流の機会となりました。

懇親会は、二胡奏者で医学博士の姜曉艶(ジャン ショウイェン)さんによる素晴らしい演奏で始まりました。会場全体が二胡の音色にやさしく包まれ、格式ある中にも温かな余韻が生まれました。そして、「手に手つないで」も、姜曉艶さんによる二胡の演奏で合唱。参加された皆様にも心に残るひとときとなったのではないのでしょうか。

今回のIMは、小林通匡実行委員長の周到な準備と運営により、呉東ロータリークラブにはホストクラブとしての役割をしっかりと果たしてもらったと評価しています。

最後に、元内閣総理大臣 衆議院議員 岸田文雄様をはじめ、開催にご協力いただいたすべての皆様に心よりお礼を申し上げて、グループ8のIM開催の報告とさせていただきます。



## クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー (CLLS)を終えて

国際ロータリー第2710地区 2025-26年度 ガバナーエレクト  
**脇 和也**  
(宇部RC)

ホストクラブの宇部のメンバーが座席表を張るなど慌ただしい準備作業のなか、私は一人壇上の中央に立ち「フーッ」と一息をつきました。すると不思議に1年前の光景が頭に浮かんできました。同じ場所で土肥慎二郎ガバナーエレクト(当時)が大勢のロータリアンを前に語り掛けた、あの情景です。「ついに来たか!」。思わず武者震いしました。

ガバナーエレクトとして次年度の本番へ向けて最後の大事な仕事となるクラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナーは2026年4月26日、広島市の広島国際会議場に2710地区内71クラブから766人がエントリーして開催されました。3月15日に開かれたPELS&地区チームラーニングセミナーに続くもので、開会は午後からでしたが、いつになく早朝から緊張した時間を体験しました。

ガバナーの卵として国際会議場でのセミナーを見学したのはノミネーデジグネットだった2年前のことでした。主会場内の両側にある場内を見下ろすボックス席から初めて臨んだ熱気あふれるイベントはしかし、まだ「他人事」でした。またノミネーとして迎えた昨年のセミナーも「まだ来年のこと」と高をくくっていました。

そして気が付けばこれまで見てきた壇上に今、自分がいるのです。「光陰矢の如し」といえば月並みですが、それだけガバナーへ向けての時間は濃密でたちまちに経過していったと振り返ることができます。そしていよいよセミ

ナーが幕を明けます。

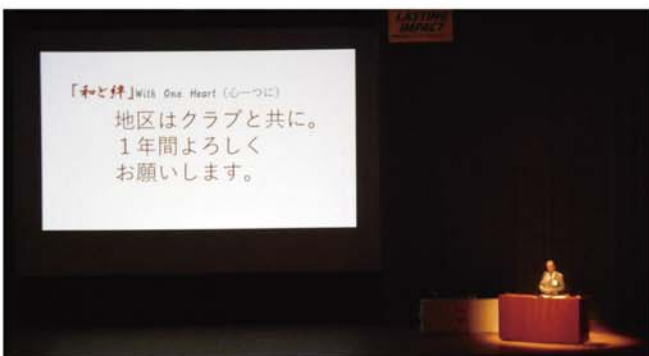
順を追ってレポートしましょう。

開会は午後1時。まずは登録者全員が集う合同会議の始まりです。司会を務める古谷博司次年度地区ラーニング副委員長(宇部RC)の「ただいまから…」の第一声にざわついていた場内が静まります。

そして点鐘、国歌とロータリーソング「奉仕の理想」の斉唱。私と次年度地区ラーニングファシリテーターの石川良興パストガバナー、土肥ガバナーの挨拶、その後、私から次期RI会長メッセージ「Create Lasting Impact」(持続可能なインパクトを生み出そう)と地区運営方針やガバナー信条「和と絆」(With One Heart・心一つ)について説明させていただきました。

休憩をはさんで、セミナーの主目的の一つである分科会に移ります。会長・幹事、クラブ管理運営、公共イメージ、会員増強、奉仕プロジェクト①(職業・社会・国際奉仕)同②(青少年奉仕)、ロータリー財団、米山記念奨学会の七つの部門に分かれての90分間の「学び」です。

私は会長・幹事部門に参加していました。同部門では近年RIが特に力を入れているハラスメントの防止について地区危機管理委員会の副委員長で弁護士の山内奈保子さん(尾道RC)から「危機管理と青少年保護」のテーマで講演を聞きました。地区内では幸い、危機管理委員会を緊急開催するようなハラスメント事案は発生していません。



だが対応を誤ると最悪の場合、RIによるクラブ終結の可能性も出てきます。受講された会長・幹事の皆さんの真剣な表情が印象的でした。

次年度へ向けてのセミナーはPELSがそうであるように、かつてのPETSではなく「T」(トレーニング)から「L」(ラーニング)に変わりました。座学中心の研修方式から討議を含めて参加者全員が発言して学ぶラーニング方式へとシフトしました。

実際に分科会においても部門によってラーニング方式を全面的に取り入れて実行していただいた委員会がありました。少しか会長・幹事部門の席を離れて他の部門を見学させていただきましたが、参加者の発言で場内は賑やかで活気にあふれていました。それを見てこれからはラーニング方式が主流になることを確信しました。

また分科会開催へ向けて準備していただいた各委員会の委員長はじめリーダーの皆さんには事前アンケートの実施やそのとりまとめなど、丁寧に時間を重ねて万全を期していただきました。おかげで充実した成果を上げることができたと思っています。改めて深く感謝いたします。

最後に再び合同本会議に戻って閉会行事に移ります。まとめとして石川地区ラーニングファシリテーターによるセミナーの評価や次年度を担うクラブリーダーの皆さんへの激励があり、私は参加していただいた皆さん全員へ感謝の気持ちを述べさせていただきました。

また同じステージで10月23～25日に宇部市で開催する地区大会の予告を宇部クラブの猪熊哲彦大会実行委員長が行いました。ただ、あいにくに用意したPR用のビデオの調子が悪く満足に「宇部の魅力」を伝えることができませんでした。ですからなおさらに10月には大会に参加していただき宇部の街の素晴らしさを見聞していただければと思います。お待ちしております。

セミナー当日は朝こそ青空が広がっていましたが、昼前からはあいにくの雨模様となりました。最後の最後に開催のホテルグランヴィア広島での懇親会へのバス移動に手間取ってしまいましたが、何とかセミナーの全日程を終えることができました。

懇親会が終わって最後の1人を見送ったとき、思わず「フーっ」と一つ息をつきました。緊張から解放された安堵感が身を包みます。ただそれも東の間、7月のガバナー年度スタートまでは過密スケジュールが待ち受けます。そして公式訪問が始まります。

1年があっという間に過ぎ去ってくれることを願いつつ宇部クラブの仲間と一緒にバスで帰路に着きました。2時間余の車内がいかに盛り上がったかはご想像にお任せします。





## RI第3690地区(韓国;高陽市)地区大会に参加して

国際ロータリー第2710地区 2025-26年度 ガバナー  
土肥 慎二郎

2026年4月22日～24日、姉妹地区提携をしている韓国3690地区の地区大会に参加しました。

参加者は、以下の皆様です。

私(ガバナー)と家内

脇 和也ガバナーエレクトご夫妻

小根森直子ガバナーノミニ

姫路 紀G2ガバナー補佐

小野田RC 白石光徳 様

小野田RC 河田朋子 様

小野田RC 田代雅一 様

宇部RC 清水昭彦 様

宇部西RC 篠崎文彦 様

福山北RC 藤井好夫 様

三次中央RC 沈 勝義 様

東広島21RC 原 直樹 様

東広島21RC 石竹一哉様ご夫妻



初日は、高陽市のレストランで3690地区の金鐘喆ガバナー他数名の会員と夕食を楽しみ、翌日はソウル市内へ観光に行きました。



本会議では、タイ、フィリピン、台湾、そして韓国と日本のロータリアンが参加し、私は2710地区の代表としてハンゲルでスピーチを行いました。笑いもとれてホッとしました。

要旨は以下の通りです。

3690地区大会の開催おめでとうございます。私は20年前に一人の韓国人ロータリアンに会いました。少しずつ仲良くなり、ハンゲルを覚えました。韓国の歌も覚えました。本日は歌いませんが…

2年前に、金鐘喆総裁(ガバナー)と会いました。私は「お兄さん」と呼んでいます。

“UNITE FOR GOOD”そして“CREATE LASTING IMPACT”

ENJOY ROTARY !!



## ロータリー国際大会2026(台北) ガバナーナイト

2026.6.13



2710地区からロータリアンと家族、総勢200名の方にご参加いただきました。  
ありがとうございました。



### 編集後記

国際ロータリー第2710地区 2025-26年度 ガバナー月信 編集委員長 **新開 洋一**  
(西条RC)

ガバナー月信発行の主な目的は、ガバナーが地区内の各クラブや会員に対して国際ロータリー(RI)や地区の重要事項を伝え、活動を活性化させることです。

その目的達成のため、土肥慎二郎ガバナーはガバナー月信を出来るだけ多くの会員の方々に読んで頂きたいとの願いから、ご自身多くの原稿をお書きになっただけでなく、各クラブの幹事さんに自分の会長さんの事を書いて頂いた—わがクラブの会長さん—や、各ローターアクトクラブの紹介など独自の企画を考えてくださいました。

またグローバル補助金事業や地区補助金事業の紹介記事では各クラブの担当会員の方々より詳細なご報告を頂きましたし、各の地区委員会の委員長様方にはご丁寧な事業紹介の原稿を頂きました。パストガバナーの方々にもロータリーへの情熱のこもった玉稿を頂きました。それらの原稿依頼に対して快くお引き受け頂きました皆様方に深く感謝致します。

最後に、毎月の月信発行に関して多大なご尽力を頂いたガバナー月信編集委員 西条ロータリークラブの村上和秀会員、国際ロータリー 第2710地区事務局の布施美佐子さん、今谷コミュニケーションズ株式会社の渡邊 有惣 様に厚く御礼申し上げます。

国際ロータリー第2710地区 — 2025-26年度 新会員紹介 —

 稲村 拓郎 下関北RC 2026年5月2日 調剤薬局	 木村 美充 下関西RC 2026年5月13日 採石業	 成瀬 友之 宇部西RC 2026年5月12日 総合証券	 河野 真治 防府RC 2026年5月11日 第二地方銀行	 片山 裕司 山口県央RC 2026年5月12日 地方銀行	 唐澤 宏誌 山口県央RC 2026年5月12日 機能化学・食品加工	 柴崎 浩憲 山口県央RC 2026年5月12日 地方銀行	 岡田 哲矢 周南西RC 2026年5月19日 産業機械販売	 江村 公佑 周南西RC 2026年5月19日 土木建築	 福田 陽一 周南西RC 2026年5月19日 果樹栽培
 山本 智哉 周南西RC 2026年5月19日 配管工事	 緒方 誠 周南西RC 2026年5月19日 旅行業	 小川 勝也 徳山RC 2026年4月23日 住宅産業	 加藤 義弘 徳山東RC 2026年4月10日 証券取引	 白井 伸和 徳山東RC 2026年4月15日 車輛製造	 白石 将之 徳山東RC 2026年4月15日 商業金融	 川戸 泰平 岩国RC 2026年5月14日 保険全般(生命保険)	 村光 譲治 岩国RC 2026年5月7日 金融(商業銀行)	 猿渡 和孝 岩国RC 2026年5月14日 化学工業薬品製造	 高田 康秀 岩国RC 2026年6月4日 レストラン
 都成 菜美 広島安芸RC 2026年5月12日 不動産業	 原 孝 広島安芸RC 2026年4月21日 保育園	 細田 英生 広島安芸RC 2026年4月21日 衣料配布	 大石 絢也 広島東RC 2026年5月13日 コンサルティング事業	 杉原 昌樹 大竹RC 2026年5月26日 化学工業	 園田 邦貴 広島東RC 2026年6月1日 輸入車販売	 堀 健司 広島西RC 2026年5月12日 不動産取引業	 武田 正吾 三原RC 2026年6月2日 為替銀行	 庭野 光正 三原RC 2026年6月2日 生命保険	 駒 敦博 福山RC 2026年5月11日 総合金融サービス業
 寺迫 美加 福山南RC 2026年5月14日 生命保険	 富山 英成 福山南RC 2026年5月14日 飲食業	 堀井 秀太郎 福山南RC 2026年5月14日 地方銀行	 武本 浩二 福山南RC 2026年5月14日 信用金庫	 今田 顕 三次中央RC 2026年5月11日 電気・空調設備	故 徳田 文男 殿 謹んで哀悼の意を表します 故 林 克宏 殿 宇部東RC 2026年5月27日 ご逝去(享年92歳) [職業分類] 新聞発行 [ロータリー歴] 1994-95年度 会長 2004-05年度 会長 2018-19年度 会長 2001-02年度 ガバナー補佐 2015-16年度 地区幹事 2001 ボールハリス フェロー 2024-25年度 卒寿表彰				因島RC 2026年5月29日 ご逝去(享年82歳) [職業分類] 歯科医 [ロータリー歴] 1996-97年度 幹事 2004-05年度 会長 2012-13年度 ガバナー補佐 ペネファクター ボールハリス フェロー 米山功労者

国際ロータリー第2710地区 2025-26年度会員増減・出席率(2026年5月度)

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初7/1	当月		本年度	
				末日	内女性	入会	退会
1	長門	85.76	25	25	3	2	2
	下関	72.18	43	45	2	4	2
	下関中央	69.47	38	43	7	5	0
	下関東	69.20	65	66	6	4	3
	下関北	74.11	58	57	4	1	2
	下関西	79.73	33	31	0	1	3
計	75.08	262	267	22	17	12	
2	萩	77.46	42	40	3	2	4
	萩東	86.45	25	23	1	0	2
	美祿	73.85	18	22	1	4	0
	小野田	81.47	31	36	4	8	3
	宇部	95.67	38	37	3	4	5
	宇部東	72.90	9	8	1	0	1
宇部西	86.09	49	50	6	2	1	
計	81.98	212	216	19	20	16	
3	防府	90.96	57	60	3	5	2
	防府北	82.41	22	20	2	1	3
	防府南	86.50	44	45	9	2	1
	山口	78.58	44	48	5	6	2
	山口県央	86.36	24	25	2	5	4
	山口南	93.62	42	40	7	1	3
計	86.41	233	238	28	20	15	
4	光	76.36	52	52	4	2	2
	周南西	83.10	57	61	6	8	4
	徳山	99.14	40	41	2	6	5
	徳山セントラル	77.21	20	21	3	2	1
	徳山東	100.00	42	41	1	2	3
計	87.16	211	216	16	20	15	

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初7/1	当月		本年度	
				末日	内女性	入会	退会
5	岩国	76.23	66	67	1	5	4
	岩国中央	84.79	38	38	6	1	1
	岩国西	85.05	64	65	6	2	1
	柳井	89.52	25	24	1	1	2
	柳井西	99.02	26	28	6	2	0
計	86.92	219	222	20	11	8	
6	広島	99.45	123	117	2	14	20
	広島安芸	99.82	33	36	5	5	2
	広島安佐	82.45	13	18	3	7	2
	広島東	96.08	108	116	14	19	11
	広島北	94.04	102	108	0	7	1
	広島陵北	96.02	44	49	4	7	2
大竹	87.64	24	25	0	4	3	
計	93.64	447	469	28	63	41	
7	広島中央	100.00	62	67	5	8	3
	広島廿日市	86.45	24	21	2	1	4
	広島城南	100.00	40	38	3	1	3
	広島南	100.00	86	84	0	5	7
	広島東南	100.00	84	78	13	6	12
	広島西南	99.27	77	78	5	6	5
広島西	99.58	92	90	7	2	4	
計	97.90	465	456	35	29	38	
8	江田島	94.86	17	16	0	1	2
	東広島	82.68	23	23	2	2	2
	東広島21	86.37	21	21	3	2	2
	呉	85.09	71	68	5	1	4
	呉東	75.99	34	34	3	2	2
	呉南	90.86	43	44	1	1	0
	西条	99.12	44	46	1	5	3
	広島新世代	65.04	0	20	3	22	2
計	85.00	253	272	18	36	17	

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初7/1	当月		本年度	
				末日	内女性	入会	退会
9	広島空港	81.70	28	27	4	1	2
	因島	95.64	14	13	0	4	5
	三原	89.44	49	49	1	2	2
	尾道	74.03	77	75	2	1	3
	尾道東	86.76	47	48	7	3	2
計	85.51	215	212	14	11	14	
10	府中	84.58	14	15	3	2	1
	福山	94.24	85	84	3	9	10
	福山東	74.63	32	32	1	5	5
	福山丸之内	86.58	22	22	1	0	0
	鞆の浦	70.56	15	15	0	0	0
	福山REC2710*	100.00	7	7	1	0	0
計	85.10	175	175	9	16	16	
11	福山赤坂	84.06	52	52	4	1	1
	福山北	91.86	32	29	2	0	3
	福山南	69.06	56	61	5	8	3
	福山西	85.01	40	38	4	2	4
	松永	93.10	54	55	8	2	1
計	84.62	234	235	23	13	12	
12	吉舎	92.59	9	9	0	0	0
	三次	73.63	40	40	1	3	3
	三次中央	93.44	33	32	5	1	2
	庄原	91.97	26	26	2	1	1
東城	92.45	14	13	0	0	1	
計	89.76	122	120	8	5	7	
第2710地区計	86.15	3048	3098	240	261	211	

\*正式名称「福山ロータリーEクラブ2710」